


```
total 4
-rw----- 1 yasuoka      294 Feb 26 14:45 from1
-rw----- 1 yasuoka      308 Feb 26 16:16 from2
-rw-r--r-- 1 yasuoka      111 Feb 26 16:10 to1
-rw-r--r-- 1 yasuoka      105 Feb 26 16:33 to2
~/Mail/Hama% █
```

最終書き込み時刻から見て、from1、to1、from2、to2の順番かな？

yasuoka : ええ、そうだったと思います。

root : うーん、これ、from1とfrom2はちゃんとしたメールだけど、to1とto2は違うね。

yasuoka : まずいんですか？

root : うん。前回も言ったように、Mail -fの後とかfiの後とかに指定できるファイルは、メールのファイルだけだからね。to1とto2はMailでは見ることもできない。ためにMail -f to1としてごらん。

yasuoka : はい。

```
~/Mail/Hama% Mail -f to1 (ぼこ)
Mail Version 9/4/88 Type ? for help.
"to1": 0 messages
& █
```

root : ほらね。0 messagesだと思われてるだろ。

yasuoka : 困ったなあ。from1とfrom2は大丈夫なんですか？

root : fi from1してごらん。

yasuoka : はい。

```
& fi from1 (ぼこ)
"from1": 1 message 1 new
> 1 hama Mon Feb 26 13:01 13/294
& p1 (ぼこ)
Message 1:
From hama Mon Feb 26 13:01:09 1990
Received: by ginkaku.kudpc.kyoto-u.ac.jp (1.1/ku2.22)
 id AA10055; Mon, 26 Feb 90 13:01:07 JST
Date: Mon, 26 Feb 90 13:01:07 JST
From: hama
Message-Id: <9002260401.AA10055@kudpc.kyoto-u.ac.jp>
```

To: yasuoka

Status: R

Kenkyuusha bangou nanban desuka?

Hama

& █

うーん、to1とto2も何とかありませんか？

root : 日付とかが適当でもいいかい？

yasuoka : ええ、メールコマンドで扱えるなら、何でも。

root : じゃ、適当なFrom欄を付けるコマンドをあげよう。名前はfakefromだ。あ、6行目の.*の直後はタブだから注意するようにね。

```
#!/bin/sh
# "fakefrom" Version 1.0 for BSD
for F in $*
do mv $F $F~ || continue
diff -c $F~ /dev/null |
sed -e "1s/^.*      /- From $USER /" \
    -e 2,3d -e '/^- /!s/^.*$//' -e 's/^- //' > $F
done
exit 0
```

(間)

yasuoka : こんなもんかな。

```
~/bin% rehash (ぼこ)
```

```
~/bin% popd (ぼこ)
```

```
~/Mail/Hama
```

```
~/Mail/Hama% █
```

できました。

root : じゃ、さっきのto1に対して、fakefrom to1を実行してみて。

yasuoka : fakefrom to1ですね。

```
~/Mail/Hama% fakefrom to1 (ぼこ)
```

```
~/Mail/Hama% █
```

どうなったんですか？

! Koichi Yasuoka !

root : Mail -f to1 してみてください。

+-----+

yasuoka : はい。

```
~/Mail/Hama% Mail -f to1 (ぼこ)
Mail Version 9/4/88 Type ? for help.
"to1": 1 message 1 new
>N 1 yasuoka          Mon Feb 26 16:10    7/151
& p1 (ぼこ)
From yasuoka Mon Feb 26 16:10:09 1990
Status: R
```

Gomennasai, kenkyuusha bangou tte nandesuka?

```
+-----+
! Koichi Yasuoka !
+-----+
```

& ■

あ、読める。どうやったんですか？

root : メールコマンドをだますために、1行目に適当な日付の From 欄を付けたんだよ。日付は元のファイルの最終書き込み時刻から取ってる。to2 にもやってみよう。

yasuoka : はい。

```
& !fakefrom to2 (ぼこ)
!
& fi to2 (ぼこ)
"to1" complete
"to2": 1 message 1 new
>N 1 yasuoka          Mon Feb 26 16:33    7/145
& p1 (ぼこ)
From yasuoka Mon Feb 26 16:33:00 1990
Status: R
```

Ima shirabemashita. 651820230211 desu.

+-----+

& ■

お、完璧。

root : この fakefrom は BSD 専用だから、System V 用も見せとくね。

```
:
# "fakefrom" Version 1.0 for System V
for F in $*
do mv $F $F~ || continue
pr -h ${USER:-$LOGNAME} $F~ | awk '
NR==3{
i=index("AprAugSepMayJunOctNovJulyMarJanFeb",$1);
j=$2+$4+int($4/4)-int($4/100)+int($4/400)+i;
if(i>28&&($4>0||$4%100==0&&$4%400>0))
j++;
k=substr("ThuFriSatSunMonTueWed",j%7*3+1,3);
printf("From %s %s %s%3d %s:00 %d\n\n",$5,k,$1,$2,$3,$4);
exit;
}' > $F
echo | cat $F~ - >> $F
done
exit 0
```

root : さて、to1 も to2 もメールになったし、from1、to1、from2、to2 の順番に1つにまとめようか。

yasuoka : はい。

root : fi from1 してくれるかい？

yasuoka : from1 ですね。

& fi from1 (ぼこ)

"to2" complete

"from1": 1 message

> 1 hama

Mon Feb 26 13:01 13/295

& ■

```
root : まとめた後のファイル名は何にする？
yasuoka : hama さんとのメールですから、hama にします。
root : じゃ、s hama だ。
yasuoka : はい。
        & s hama (ぼこ)
        "hama" [New file] 13/295
        & █

root : 次に fi to1 して。
yasuoka : to1 ですね。
        & fi to1 (ぼこ)
        "to1": 1 message
        > 1 yasuoka          Mon Feb 26 16:10    8/162
        & █

root : で、また s hama する。
yasuoka : はい。
        & s hama (ぼこ)
        "hama" [Appended] 8/162
        & █

root : from2 と to2 も同じようにしてね。
yasuoka : あ、そういうことですか。わかりました。
        & fi from2 (ぼこ)
        "from2": 1 message 1 new
        > 1 hama              Mon Feb 26 16:14    13/308
        & s hama (ぼこ)
        "hama" [Appended] 13/308
        & fi to2 (ぼこ)
        "from2" complete
        "to2": 1 message
        > 1 yasuoka          Mon Feb 26 16:33    8/156
        & s hama (ぼこ)
        "hama" [Appended] 8/156
        & █

root : これでできあがり。fi hama してごらん。
```

```
yasuoka : はい。
        & fi hama (ぼこ)
        "hama": 4 messages 1 new
        > 1 hama              Mon Feb 26 13:01    13/295
        2 yasuoka          Mon Feb 26 16:10    8/162
        3 hama              Mon Feb 26 16:14    13/308
        4 yasuoka          Mon Feb 26 16:33    8/156
        & █

これで、hama さんからもらったメールと hama さんに送ったメールは、
1 つの hama ってファイルにまとまったわけですね。
root : そう。じゃ、いったんメールコマンドを終了して、この hama を ~/Mail に
mv してくれるかい？
yasuoka : はい。
        & q (ぼこ)
        "hama" complete
        ~/Mail/Hama% ls (ぼこ)
        from1 from2 hama to1 to1~ to2 to2~
        ~/Mail/Hama% mv hama .. (ぼこ)
        ~/Mail/Hama% █

なんか to1~ とか to2~ とかっていうファイルが増えてますけど。
root : fakefrom が作ったものだよ。このディレクトリにあったメールはもう全
部 ~/Mail/hama に入ってるわけだから、from1 とかも含めて rm してもか
まわないよ。でもまあその前に、メールフォルダの使い方をやろう。
yasuoka : はい。やっところさですね。
root : まずは Mail -f from1 で、メールコマンドを立ちあげてくれるかい？
yasuoka : はい。
        ~/Mail/Hama% Mail -f from1 (ぼこ)
        Mail Version 9/4/88 Type ? for help.
        "from1": 1 message
        > 1 hama              Mon Feb 26 13:01    13/295
        & █

root : で、set folder=/home/yasuoka/Mail する。
yasuoka : set folder ですか？
```

```
& set folder=/home/yasuoka/Mail (ぼこ)
```

```
& █
```

これでどうなったんですか？

```
set folder=ディレクトリ名
    メールフォルダを指定されたディレクトリにする。
folders
    メールフォルダの中のファイルの一覧を出力する。
```

```
root : fi +hama してごらん。
```

```
yasuoka : え？
```

```
& fi +hama (ぼこ)
```

```
"+hama": 4 messages
```

```
>  1 hama           Mon Feb 26 13:01   13/295
   2 yasuoka        Mon Feb 26 16:10    8/162
   3 hama           Mon Feb 26 16:14   13/309
   4 yasuoka        Mon Feb 26 16:33    8/156
```

```
& █
```

これ、/home/yasuoka/Mail/hama ですか？

```
root : そうだよ。つまり set folder=/home/yasuoka/Mail しておく、fi とか s とかで指定するファイル名の最初の文字が + だったら、メールフォルダの中のファイルをアクセスするんだ。
```

```
yasuoka : でもそれって、どう便利なんですか？
```

```
root : カレントディレクトリがどこだったとしても、「+ファイル名」でアクセスできるだろ？ だから、/home/yasuoka/Mail にメールのファイルを全部置いておけば、アクセスがすごく簡単。
```

```
yasuoka : でもいちいち set folder しなきゃいけないんでしょう？
```

```
root : いや、~/.mailrc に書いておけばいいんだよ。メールコマンドはいちばん最初に~/.mailrc の中身を実行するからね。やってみてごらん。
```

(間)

```
yasuoka : こうですか？
```

```
~% cat .mailrc (ぼこ)
```

```
set folder=/home/yasuoka/Mail
```

```
~% █
```

```
root : うん、それで正解。じゃ、Mail -f +hama してごらん。
```

```
yasuoka : いきなり +hama ですか？
```

```
~% Mail -f +hama (ぼこ)
```

```
Mail Version 9/4/88 Type ? for help.
```

```
"+hama": 4 messages
```

```
>  1 hama           Mon Feb 26 13:01   13/295
   2 yasuoka        Mon Feb 26 16:10    8/162
   3 hama           Mon Feb 26 16:14   13/309
   4 yasuoka        Mon Feb 26 16:33    8/156
```

```
& █
```

うーん、なかなか。

```
root : Mail -f の後のファイル名にも、メールフォルダは効くからね。便利さがわかったろ？
```

```
yasuoka : ええ、よくわかりました。他の人のメールも、それぞれ1つにまとめて、メールフォルダに置くことにします。でも root さん。
```

```
root : 何だい？
```

```
yasuoka : 今までに人に送ったメールって、全部さっきみたいに fakefrom を使ってごまかさなきゃいけないんですよ？
```

```
root : ちゃんとしたメールのファイルになってないなら、そうするしかないな。
```

```
yasuoka : じゃ、これから人に送るメールは毎回そうしなきゃいけないんですか？
```

```
root : いや実は、人に送ったメールのコピーを、ちゃんとしたメールの形でとっておく方法があるんだ。でも今日はもう時間がないから、それはまた次回にしてくれるかい？
```

```
yasuoka : でも今、送りたいなあと思ってるメールがあるんですけど。
```

```
root : わかった、じゃあ
```

```
set record=/home/yasuoka/mbox
```

の1行を~/.mailrc に付け加えておいてくれるかい？ それで~/mbox に、送ったメールが自動的に入るようになるから。意味は次回、説明するね。

```
yasuoka : わかりました。どうもありがとうございました。
```